

# 令和元年度 「モラル・エッセイ」コンテスト受賞者一覧



福島県教育委員会

## [審査結果]

この度は、「モラル・エッセイ」コンテストに多数の御応募をいただき、誠にありがとうございました。一次・二次審査を経て下記のように受賞者が決まりました。

受賞された皆様への表彰式は、令和2年1月7日（火）に、とうほうみんなの文化センター（県文化センター）で実施いたします。9名の皆様、受賞おめでとうございます。

### 中学生の部 最優秀賞1名

「大切なもの」 会津学鳳中学校 2年 加藤 碧唯 さん

### 優秀賞2名

「私の中の思いやりの芽」 伊達市立桃陵中学校 1年 柳沼佳奈実 さん

「明るさは私たちの武器だ」 二本松市立二本松第三中学校 3年 守谷 花音 さん

### 高校生の部 最優秀賞1名

「『つながり』について考える」 安達高等学校 2年 根本 有夢 さん

### 優秀賞2名

「マナーを守る」 安達高等学校 2年 高橋 星加 さん

「今生きていることに感謝して」 相馬農業高等学校 3年 青田 美桜 さん

### 一般の部 最優秀賞1名

「今、父として」 郡山市在住 村松 龍 さん

### 優秀賞2名

「返ってきた本」 耶麻郡猪苗代町在住 渡部 文子 さん

「御向かいさんの心遣い」 南会津郡南会津町在住 渡部 百枝 さん

## [応募総数]

	中学校	高等学校	一般	計
応募総数	1, 244	14	22	1, 280

(審査委員)	一次審査	義務教育課指導主事 高校教育課指導主事	
	二次審査	上越教育大学教授 福島県教育庁教育総務課長 福島県教育庁高校教育課長 福島県教育庁義務教育課長	林 泰成 氏 高瀬 智美 鈴木 芳人 福地 裕之

## [講 評]

- 自分が体験したこと、経験したことを振り返り、自分が学んだり、感じたりしていることと結び付けながら、前向きに、よりよく生きていこうと考える作品が数多くありました。
- 中学校の部では、道徳科の授業で学んだことをきっかけにして、命の尊さや思いやり・感謝等についてより深く思いをめぐらせて考える作品が見られました。
- 本コンテストの目的とよさの啓発に努め、高校生や一般の方々がモラルやマナー、命や家族、他者との絆等を見つめ、表現する場を数多く提供していきたい。